

## 電子証明書の更新 処理フロー【管理者】

### 電子証明書の更新

#### 電子証明書を使用したログイン

通常に電子証明書方式でログインします。



#### 1. 電子証明書の更新

電子証明書の有効期限は1年です。

有効期限の1ヶ月前から「電子証明書更新のお知らせ」画面が表示されますので、画面の指示に沿って更新してください。

#### ご注意ください

- ・当行が推奨するご利用環境（OS、ブラウザ）でご利用ください。
  - ・電子証明書の有効期限は1年です。管理者用の電子証明書の有効期限が過ぎてしまった場合は、管理者ログインができなくなります。
  - ・有効期限の1ヶ月前から「電子証明書更新のお知らせ」画面が表示されます。また、Eメールでもお知らせいたします。
  - ・以下の場合は、電子証明書の再発行のお手続き（※）が必要となり、再度ご利用いただけるまでにお時間がかかりますので、あらかじめご了承ください。
    - 管理者用の電子証明書の有効期限が過ぎてしまった場合、またはパソコンを新しくした場合
    - 電子証明書を誤って削除した場合
    - 更新操作が正常に行われなかった場合
- ※ **管理者の場合は、ご来店による電子証明書再発行手続きが必要になります。**
- ・ご来店の際には、Biznet 代表口座のお届印をご持参ください。
  - ・当行の電子証明書の再発行手続き完了後、再度、管理者用電子証明書の取得操作を行ってください。

## 4. 電子証明書の更新【管理者編】

### 1. 電子証明書の更新

#### 手順1 通常に電子証明書方式でログインします。

契約法人ログイン(電子証明書方式) CIBMU109

契約法人暗証番号を入力し、「ログイン」ボタンを押してください。

契約法人暗証番号 必須  半角英数字4~12桁

ソフトウェアキーボード  + 閉く

クリア 閉じる **ログイン >**

▲ ページ上部へ

- ① 契約法人暗証番号をご入力ください。  
※ご入力情報をクリアする場合は、**クリア**をクリックしてください。  
※契約法人暗証番号のご入力には、セキュリティ対策としてソフトウェアキーボードをご利用ください。  
**ソフトウェアキーボード**をクリックいただくと、画面上にキーボードが表示されます。
- ② **ログイン**をクリックしてください。  
※ログインを中断する場合は、**閉じる**をクリックしてください。

#### 手順2 電子証明書更新のお知らせ

電子証明書更新のお知らせ CIBMU115

2017年01月25日 19時03分26秒

電子証明書の有効期限が近づいています。電子証明書を更新してください。

**電子証明書を更新する**

電子証明書を更新する場合は、「次へ」ボタンを押してください。  
次回ログイン時に更新する場合は、確認チェックボックスをチェックして、「次へ」ボタンを押してください。  
有効期限を過ぎるとログインできなくなりますので、ご注意ください。

電子証明書の有効期限	2017年01月28日 08時59分59秒
------------	-----------------------

**次へ >**

▲ ページ上部へ

- ① **次へ**をクリックしてください。

#### ご注意ください

電子証明書の有効期限の1ヶ月前から、この画面が表示されます。電子証明書の更新は必須です。また、電子証明書更新時期をEメールでもお知らせいたします。

## 4. 電子証明書の更新【管理者編】

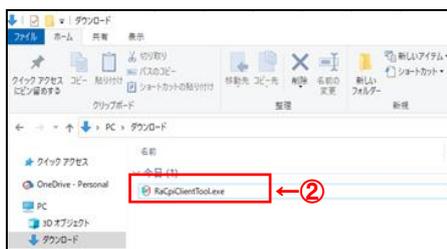
### 手順3 電子証明書の更新開始



- ① 初めての更新の場合など専用アプリケーションをダウンロードしていない場合は「ダウンロード」から専用アプリケーション（RaCpiClientTool.exe）をダウンロードしてください。

※通常、ダウンロードフォルダ（C:\%users%\ログインユーザ%\download）に格納されます。

※同画面（電子証明書更新実行画面）は②～④を実行後、⑤で再度操作するため閉じずにそのまましてください。



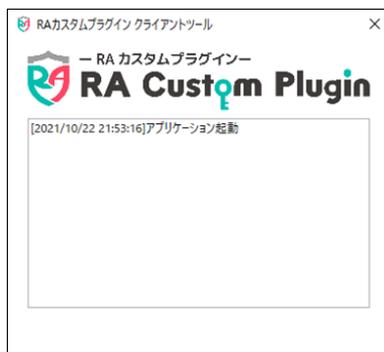
- ② 専用アプリケーションをダブルクリックまたは [右クリック]-[開く]をクリックして起動してください。

※Windows 8.1/Google Chrome の場合は、RaCpiClientTool.exe を右クリックし、「管理者として実行」をクリックする必要があります。



- ③ 左記画面が表示された場合、「インストールする」をクリックしてください。

- ④ 専用アプリケーションが起動されたことを確認してください。



- ⑤ 「実行」をクリックしてください。

※①で閉じずに開いたままとした電子証明書取得実行画面より操作を行ってください。

※電子証明書の更新を中断する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

※専用アプリケーションを起動せずに「実行」をクリックした場合、以下のダイアログが表示されます。



## 4. 電子証明書の更新【管理者編】

電子証明書更新実行 CIBRA101

電子証明書の更新を開始します。  
「実行」ボタンを押してください。

キャンセル **実行 >** ←⑥

⑥ **実行**をクリックしてください。

### 実行した場合

電子証明書更新中 CIBRA102

電子証明書取得処理中です。しばらくお待ちください。  
電子証明書の更新が完了するまでブラウザを終了しないでください。  
また中止、更新も行わないでください。

### キャンセルした場合

電子証明書更新中断 CIBRA104

電子証明書の更新処理が中断されました。  
「戻る」ボタンを押すと、電子証明書更新実行画面に戻ります。

<戻る 閉じる

#### ご注意ください

**実行ボタンクリック後、更新以外の操作  
(以下参照) は行わない**でください。

- ・ブラウザの戻るボタンや更新ボタンをクリックする。
- ・ブラウザを閉じる（電源を切る）
- ・他のユーザーでログオンする など

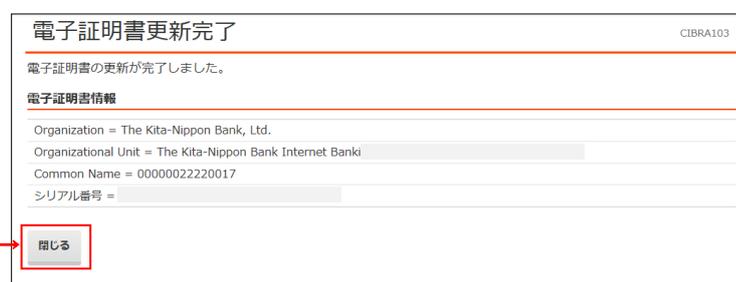
#### 4. 電子証明書の更新【管理者編】

### 手順4 電子証明書の更新完了



- ① 「電子証明書」の取得が正常に完了すると、左の画面が表示されます。

専用アプリケーションを確認し、電子証明書のインストールが完了しているか確認します。



#### ご確認ください

電子証明書情報をご確認ください。

Organization =

The Kita-Nippon Bank,Ltd.

Organizational Unit =

The Kita-Nippon Bank Internet Banking  
CA-G2

Common Name =

14 桁の契約法人 ID



- ② 閉じるをクリックしてください。  
Biznet の画面は閉じます。

パソコンを再起動するか、一旦全てのブラウザを閉じてから、北日本銀行ホームページの **管理者ログオン** をクリックしてください。

- ① ×をクリックしてください。専用アプリケーションが終了します。

## 4. 電子証明書の更新【管理者編】

### 備考「手順3 電子証明書の更新開始」に失敗する場合

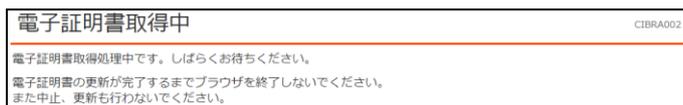
「手順3 電子証明書の更新開始」を実行した際に何らかの理由で専用アプリケーション（RaCpiClientTool.exe）をダウンロードできない、または起動できない場合は本手順を実行してください。



① [こちら](#)をクリックします。



② **実行**をクリックします。



③ **ダウンロード**をクリックします。

※通常、ダウンロードフォルダ（C:\¥users¥ログイ  
ンユーザ¥download）に格納されます。



④ 証明書ファイルをダブルクリックして証明書のインポ  
ートウィザードを起動してください。

#### ご注意ください

以下の操作は行わないでください。

- ・ブラウザの戻るボタンや更新ボタンをクリックする。
- ・ブラウザを閉じる（電源を切る）
- ・他のユーザーでログオンする など

#### ご確認ください

電子証明書情報をご確認ください。

Organization =

The Kita-Nippon Bank,Ltd.

Organizational Unit =

The Kita-Nippon Bank Internet Banking  
CA-G2

Common Name =

14 桁の契約法人 ID

## 4. 電子証明書の更新【管理者編】

⑤～⑦初期表示のまま「次へ」をクリックします。

証明書インポートウィザード

証明書のインポートウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

保存場所

現在のユーザー (C)

ローカル コンピューター (L)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

⑤ → 次へ(N) キャンセル

証明書インポートウィザード

インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名 (F):

C:\Users\Y\Downloads\certificate.p12 参照(B)...

注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:

- Personal Information Exchange - PKCS #12 (.PFX, .P12)
- Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書 (.P7B)
- Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

⑥ → 次へ(N) キャンセル

証明書インポートウィザード

秘密キーの保護

セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード (P):

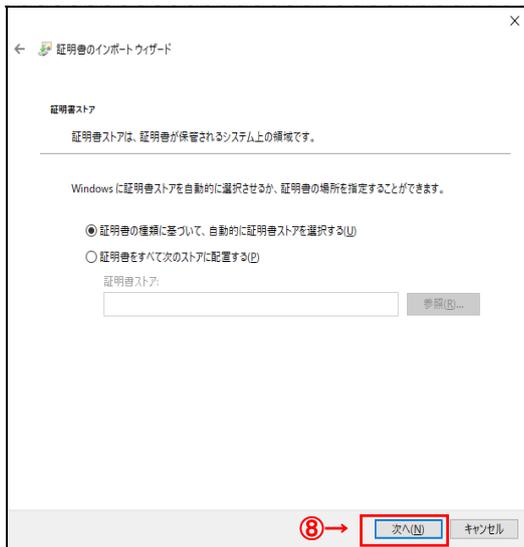
パスワードの表示 (D)

インポート オプション (O):

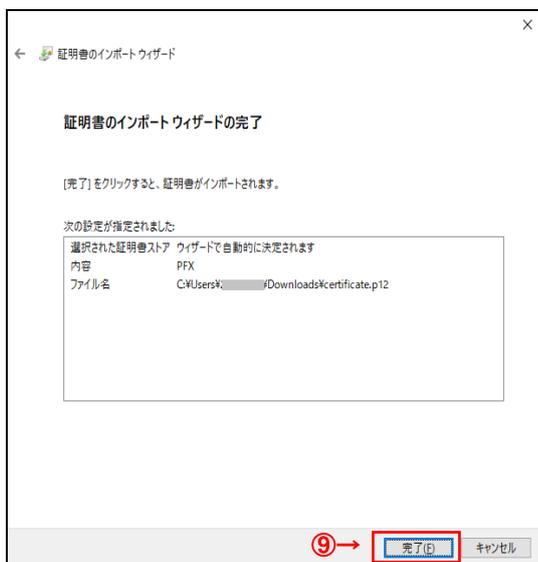
- 秘密キーの保護を強化にする (E)  
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。
- このキーをエクスポート可能にする (M)  
キーのバックアップやトランスポートを可能にします。
- 仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する (エクスポート不可) (H)
- すべての拡張プロパティを含める (A)

⑦ → 次へ(N) キャンセル

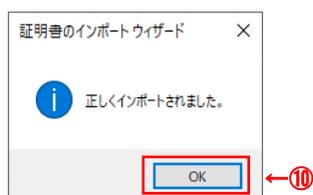
#### 4. 電子証明書の更新【管理者編】



⑧ 初期表示のまま次へをクリックします。



⑨ 完了をクリックします。



⑩ OKをクリックし、取得を完了します。パソコンを再起動するか、一旦全てのブラウザを閉じてから、北日本銀行ホームページの管理者ログインをクリックしてください。